

優秀事例研究賞

「民事信託受託者のリバースモーゲージ型借入による相続対策」
学会誌第9号掲載 2021年10月発行

澁井 和夫 氏（世田谷信用金庫 顧問）

日本相続学会優秀事例研究賞は、会員の優れた実践活動を掘り起こすとともに、他の模範とすることによって「円満かつ円滑な相続」の社会への普及に寄与することを目的としています。過去2年間の学会誌において相続に関する事例研究を発表し、本学会の発展に著しい貢献をしたと認められる会員に授与します。学会賞選考委員会によって厳正な審査が行われ、理事会にて授与が決定されました。受賞おめでとうございます。

ありがとうございます

賛助広告

●株式会社ミロク情報サービス 様 ●池畑会計事務所 様 ●さくら総合法律事務所 様 ●税理士法人平川会計パートナーズ 様 ●森川法律事務所 様 ●株式会社ライフテーブル 様 ●瀬良社会保険労務士-FP事務所 様 ●ややもり歯科医院 様（ご支援に感謝いたします。）

感謝状贈呈

開会式に続き、●設立当初より本学会所在地としてご支援いただいている、税理士法人平川会計パートナーズ 様 ●設立当初より研究大会開催にご支援をいただいている、株式会社ミロク情報サービス様に10周年を記念して感謝状の贈呈が行われました。長年のご支援に感謝いたします。



研究大会プログラムに掲載された賛助広告

祝10周年

会計事務所のシステムなら **MJS**

ミロク情報サービス

会計事務所向けに設計された、顧客の信頼の一元管理を実現。会計事務所間の協力を強化し、信頼システムの連携や相続税の申告・納税を支援。設計にも対応。

金銭取引のやり取りを一元管理できる環境で、業務効率化の実現をサポートします。

株式会社ミロク情報サービス MJS 会計事務所向け 検索

祝10周年

お客様との縁を大切に育めます。

成年後見と相続

池畑会計事務所

税理士 池畑 孝子

042-325-5055

〒102-0071 東京都世田谷区北沢1-15-18

URL: <http://www.ikihatake.com>

遺言・相続のご相談は

森川法律事務所

03-5577-3931

東京都千代田区神田小塚2-5-1

〒100-0011 東京都千代田区千代田4-10-1

TEL: 03-5577-3931 FAX: 03-5577-3932

URL: <http://www.sozoku-law.jp/>

一般社団法人日本相続学会 創立10周年を心よりお祝い申し上げます

さくら総合法律事務所

「あつた」と言われる相続を支援します！

成年後見と相続

さくら総合法律事務所

〒100-0011 東京都千代田区千代田4-10-1

TEL: 03-5577-3931 FAX: 03-5577-3932

株式会社ライフテーブル

代表取締役 伊藤久生

東京都千代田区神田小塚2-5-1

TEL: 03-5577-3931 FAX: 03-5577-3932

URL: <http://www.lifetable.jp/>

一般社団法人日本相続学会 創立10周年を心よりお祝い申し上げます

祝10周年

相続・財産承継及び事業承継のご相談なら

平川会計パートナーズ

〒100-0011 東京都千代田区千代田4-10-1

TEL: 03-5577-3931 FAX: 03-5577-3932

URL: <http://www.hirakawa.com/>

瀬良社会保険労務士-FP事務所

代表 瀬良孝司

〒100-0011 東京都千代田区千代田4-10-1

TEL: 03-5577-3931 FAX: 03-5577-3932

URL: <http://www.sozoku-law.jp/>

2021年10月10日開催

ややもり歯科医院

〒100-0011 東京都千代田区千代田4-10-1

TEL: 03-5577-3931 FAX: 03-5577-3932

URL: <http://www.yayamori.com/>

情報交換会

コロナにより、情報交換会の開催は自粛しておりましたので、久しぶりに開催できました。いつもオンライン会議でお会いしている方でも、実際にお目にかかるのは3年ぶりというケースもあり、少し変わった旧交を温める機会になりました。

初参加の方も多く30名ほどのご参加。軽妙な司会者に促され、多くの皆さまから楽しいスピーチをいただきながら、和気あいあいと情報交換会を開催することが出来ました。

（会場：喜山倶楽部）



大会実行委員会

今回の研究大会も、新型コロナウイルス感染症予防に配慮して会場参加者を制限し、オンライン配信とのハイブリッド方式で開催しました。

どのプログラムも内容が濃く、本学会にしかできない研究大会になりました。来年も充実した研究大会を開催して、引き続き、円満・円滑な相続を日本に広げていきます。

●実行委員：竹内裕詞・川原田慶太・池内久徳・池畑芳子・稲岡万貴子・五井泰彦・小林正宣・榊原正則・瀬良孝司・竹内みどり

一般社団法人日本相続学会

第10回研究大会報告集

「遺言」

期日 2022年10月21日・22日

会場 日本教育会館（東京都千代田区一ツ橋2-6-2）

ごあいさつ

本学会設立10周年を迎え、第10回研究大会を開催できることをとても嬉しく存じます。会員の皆様をはじめ、多くの皆様の献身的なご支援の賜物です。深く感謝申し上げます。

「円満かつ円滑な相続」を実現するためには、有効な遺言の存在が大きな原動力となることを訴え、遺言の重要性について国民的な理解を促進するため、今回の研究大会は「遺言」をテーマとしました。

先の民法改正により、遺言作成のための要件が緩和されました。また、法務局による自筆証書遺言保管制度が開始されるなど、遺言作成は社会の関心事となっています。しかし、我が国では遺言作成はまだ一般的とは言えない状況にあります。

相続の際、様々な理由があって、争いの解決の糸口を見いだせないまま硬直化することがあります。この中には、被相続人や相続人の事前準備によって回避できたケースが数多くあります。その事前準備の代表が遺言作成です。

「遺言」の普及を共通テーマとし、今研究大会にて皆様と一緒に探究したいと思います。

一般社団法人日本相続学会

学会賞

本年5月に学会賞推薦会告を行い、推薦された受賞候補に対して、複数名の専門家による査読審査を実施。その結果を踏まえ、学会賞選考委員会によって厳正な審査が行われ、理事会にて授与が決定されました。受賞おめでとうございます。

●学会賞（論説賞）

論説「所有者不明土地をめぐる令和3年民法改正等と相続実務への影響」学会誌第9号 2021年10月発行

○執筆者：松尾 弘 氏（慶應義塾大学大学院法務研究科 教授）

●学会賞（著作賞）

著作「所有者不明土地の法律実務」株式会社プログレス 2022年4月発行

○執筆者：吉田 修平 氏（吉田修平法律事務所 弁護士）



「円満かつ円滑に」
一般社団法人日本相続学会®
The Japanese Inheritance Association

遺言

遺言とは、遺言者が死亡したとき、その遺言に基づき、その遺言の内容に従って、その遺言の執行を受けることとなる。遺言は、遺言者の意思に基づき、その遺言の内容に従って、その遺言の執行を受けることとなる。遺言は、遺言者の意思に基づき、その遺言の内容に従って、その遺言の執行を受けることとなる。

2022 10/21 金曜日

2022 10/22 土曜日

INDEX

ごあいさつ	1
学会賞	1
基調講演	2
大会シンポジウム	2
研究発表	3
事例研究発表	3
優秀事例研究賞	4
賛助広告	4
感謝状贈呈	4
情報交換会	4
大会実行委員会	4



「円満かつ円滑に」
一般社団法人日本相続学会®
The Japanese Inheritance Association

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目9番6号 平川会計パートナーズ内
FAX 050-3730-8835 Mail: info@sozoku-gakkai.jp

13:10～
14:30

○ 発表者

伊藤 久夫 氏
一般社団法人日本相続学会
会長

吉田 修平 氏
吉田修平法律事務所 弁護士

小西 飛鳥 氏
平成国際大学法学部 教授

高野 良子 氏
福田耕治法律事務所 弁護士

小池 知子 氏
あたりし橋法律事務所 弁護士

森川 紀代 氏
森川法律事務所 弁護士

14:45～
16:30



研究発表 「相続実務者を対象とした相続に関する意識・実態把握調査」 中間報告

研究部会は、2022年7月に「相続実務者を対象とした相続に関する意識・実態把握調査」を行いました。（回答278件、調査対象は会員およびその知人などの相続実務者）
今回は一次集計を踏まえた中間報告が行われました。今後分析を行い、次回の研究大会にて最終報告する予定。



●アンケート

- ・相続実務者の相続に関する調査は初めて拝見させて頂きました。最終報告も是非お聞かせ頂ければと考えています。
- ・実務者を対象とした調査というのが、目の付け所がよいと思いました。刺激を受けました。
- ・今までに類を見ない調査。結果も興味深い。今後の調査も楽しみです。
- ・設問がよく考えられており、実務者にとって価値ある調査であると思います。大事業をさっさとこなされた皆様に感動。来年に期待します。きちんと冊子にまとめられたことも高い評価に値すると思う。
- ・年配の人はこれからのことを決める体力がない。決断をする時はとてもストレスがかかります。そのことを早くに気付く事が大切。
- ・善意の身内後見人負担が問題と感じています。



事例研究発表

事例研究発表 ① 14:45 ～ 15:30	事例研究発表 ② 15:45 ～ 16:30
高齢者間における相続での問題	人生100年時代、揉めないための相続対策
高野 良子 氏 / 福田耕治法律事務所	池畑 芳子 氏 / 池畑会計事務所
円満・円滑な相続・事業承継対策のための 生命保険信託活用	非上場株式の贈与税の納税猶予 打ち切りリスクへの対策
吉岡 達也 氏 / プルデンシャル信託株式会社	井殿 圭一郎 氏
家業のガバナンスに関する民事信託等を通じた 一族会議の効用	認知症患者や障がいのある相続人を含む 遺産分割協議の留意点
石井 満 氏 / 杠司法書士法人	稲岡万貴子 氏 / 司法書士法人ゆずりは後見センター

●アンケート

- ・障がい者の後見人事例を聞いて、さらに興味が沸いた。
- ・「人生100年時代・・・」の事例発表について、遺言書の有無にかかわらず共同相続人を認めざる得ないことです。また、遺留分が認められている以上、紛争を回避するために遺留分をも考慮にした遺言書を作成することだろうと感じました。
- ・生命保険信託：随時交付の特約が柔軟に使えると知り、活用を検討したい。
- ・事業承継税制と生保：事業承継税制の要件逸脱リスクを生保で回避する手法が新鮮だった。
- ・ご自身の実務経験から発表されており、他の方にたいへん有益な参考となります。

基調講演 「死ぬときに後悔すること25」



緩和ケア医として、積極的に発信を行っておられる大津秀一先生をお迎えし、基調講演をいただきました。

「終末期のリアル」「人生会議、やはりゼツタイ」「死ぬときに後悔すること26」「逝く人の言葉」「多くの人にとって明日はあるが、それは決して100%ではない」「生きた証」「人の中で生き続ける」など、たくさんのキーワードを投げかけられました。余韻のある素晴らしい講演でした。

●アンケート

- ・緩和ケアという医療の最前線からのお立場から、亡くなる方は最期はなかなか適正な判断はできなくなることを知り、財産の行き先だけでなく感謝など「言葉の相続」も早めに伝えることが大切であると感じました。
- ・専門知識と多くの経験の裏付けのあるお話なので説得力があり、よい人生を送るために何を大切にすべきか考えさせられた。
- ・もう感動の嵐です。笑いあり、涙あり、感動しました。素晴らしいかったです。
- ・講演後に名刺交換の行列ができたのは、皆さんの感動の表れ。大変勉強になりました。
- ・言葉の相続のキーワードが頂けた。
- ・自分の余命を知りたがるがん患者の話が興味深かったです。リスト3周目では涙が出ました。
- ・自分はまだがんではないですが、やりたいことのリストを作って、生きていきたいと思いました。



大会シンポジウム 「遺言と向き合う」

まず、竹林氏から、頭では大切と分かっている先送りするのは、「認知バイアス」という心のゆがみによる。遺言のように、対応するのは今、効果は将来というものは先送りしがち。認知バイアスを避けるには、いつもと環境を変えるとよい。遺言のような理性的な行動を後押しするには、例えば夜ではなく昼に、楽しい気持ちになるシチュエーションで、好ましい人物から勧めてもらうのが効果的。と、行動経済学の視点からお話をいただいた。

次に、木下氏から、日本財団で初めて遺贈寄付を受け入れて開校した、ミャンマーの特別支援学校の発表をはじめ、子どものサポートプロジェクトに、多くの遺贈寄付が寄せられている実情等を紹介いただいた。

吉田氏からは、研究部会の実態把握調査中間報告で、円満・円滑な相続ができた理由として最も挙げられているのが遺言の作成であること、相続で揉めそうと思われる理由として最も挙げられているのが被相続人の意思が不明な場合であること、相続対策として公正証書遺言の作成と、付言を勧める専門家が多いことを報告いただいた。

日永田氏から、戦後民法で均分相続となったが、戦前の家督相続の名残がまだ続いており、分割の話し合いの支障になっている。鎌倉時代は分割相続で、そのときには「譲り状」と呼ばれる遺言書が多く作られていた。遺言がもっと身近になって、円滑な相続が実現されることが望ましいとのお話をいただいた。

●アンケート

- ・遺言の必要性を感じた。
- ・それぞれのパネラーが個性があって良い企画だった。今後は「遺言寄付」についても取り組んでいきたい。
- ・行動経済学から遺言を書くハードルを下げるアイデアが斬新だった。
- ・想像していた以上に濃い内容だった。



10:10～
11:45

基調講演

●大津秀一 氏

早期緩和ケア大津秀一クリニック 院長 茨城県出身。岐阜大学医学部卒業。緩和医療医。日本緩和医療学会緩和医療専門医、著書に25万部のベストセラー『死ぬときに後悔すること25』（新潮文庫）『「いい人生だった」と言える10の習慣』（青春出版社）など多数

13:00～
15:00

○ シンポジスト

竹林 正樹 氏

青森大学
客員教授
（ゲストシンポジスト）



吉田 修平 氏

吉田修平法律事務所 弁護士

日永田一憲 氏

かもめ総合司法書士事務所
司法書士

木下 園子 氏

日本財団遺贈寄付サポートセンター

○ コーディネーター

竹内 裕詞 氏

さくら総合法律事務所 弁護士